

# カヌー会場見直し検討

## 東京五輪 かつ議員に都が答弁

東京都議会で17日、日は「隣接する下水道施設本共産党の、かつ佳代子議員が代表質問し、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた競技場整備計画の見直しを求めました。葛西臨海公園に予定しているカヌー・スラローム会場について、かつ氏



都民の憩いの場となっている葛西臨海公園

質問するかつ佳代子都議—17日、都議会



億円から3800億円増大する試算や、既存競技施設の最大活用、環境との調和という国際オリンピック委員会(IOC)の方針を示し、見直しにあたり、既存施設の活用や、8ヶ圏内にこだわらない会場配置等を求めました。舛添要一知事

### 自然守れる見直し歓迎

日本野鳥の会東京 川 沢祥三代表の話 葛西臨海公園に競技場を建設すれば、人が生き物とふれあい、自然に親しむための貴重な場所が、根こそぎ破壊されてしまいま

す。 下 水 道 局 の 空 き 地 は、 生

き物への影響という点では、100%解決するわけではありません。そこに建設した場合の環境影響評価が、しっかり行われるようウオッチしていくことが、建設地変更を求めている私たちの責任だと思えます。

は「既存施設の活用や整備費の圧縮の基本的な考え方に沿って、今後、具体的に進めていく」と答えました。 再質問では、バスケットボール会場など3施設は「既存施設の活用や整備の計画見直しを都が決めたとの一部報道を取り上げて、「議会の場で隠すことなく検討内容を明らかにしていただきたい」と知事に迫りました。 知事は答弁に立たず、を提示しました。

中嶋局長が「今後検討していく」と答えました。 舛添知事は同日の本会議で会場計画を見直す方針を示し、「近隣県までを含む既存施設の活用」を提示しました。